

聴覚障害者の舞台鑑賞を支援 ^{ひろ かわ} 廣川 ^{あさ こ} 麻子さん(43)

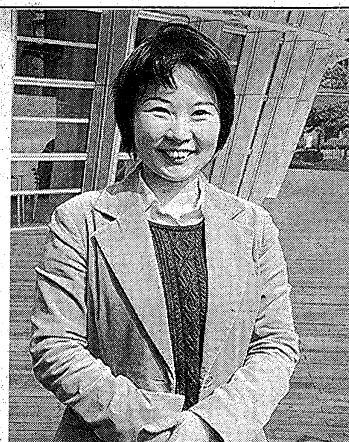
聴覚障害者が舞台芸術を楽しむ環境をつくる取り組みが評価され、文化庁の芸術選奨新人賞を受けた。生まれつき耳が不自由だ。「それでも、私たちはあなたたちの演劇に触れたいとの思いでやっています」

小学校に入ると難聴の子どもたちでつくる劇団に入団。高校の演劇部では、聞こえる友人たちと一緒に活動した。だが、せりふを楽しみながら観劇する方法は、ほとんどなかった。

2012年、NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワークを設立。メンバーと訪れた英国では、手話通訳や字幕付きの公演日を設けるのが当たり前だった。「国内でも実現したい」。劇団に鑑賞の際の台本の貸し出しや手話通訳、字幕を付けることを提案する。障害者向けの公演情報サイトをつくり、より良い観劇システムを考えるシンポジウムを開いたりする。

4月に障害者差別解消法が施行される。「差別、ってき

この人



つい言葉だけれど、一緒に楽しむために、もっといい方法を考えようということだと思う」。あきらめていた人が観劇を楽しむことも、その一つだと考えている。(小林由比)

2016.3.29